マンスリーレポート　No.20

2016 年 11 月 30 日

久留米大学医学部医学教育研究センター
https://csme.kurume-u.ac.jp/
神代龍吉、安達洋祐、柏木孝仁、北川周子

１．医学教育ワークショップ記録集

９月１日～２日の医学教育ワークショップ記録集の原稿が集まったので印刷に向けて作業を進行中である。今年中には発行できる見通しとなった。

２．提案：アクティブラーニングと協同学習の導入計画

当センターで授業を活性化する方略集をまとめた（別紙）。すべての教員ができることから無理なく導入できる手引きとしていただきたい。

３．医学教育者のためのワークショップへ柏木講師の参加決定

第４３回医学教育者のためのワークショップ（日本医学教育学会主催　厚生労働省・文部科学省共催、平成 28 年 12 月 4 日～8 日、湘南国際村センター）へ柏木が参加することになった。以前、富士研として裾野市で開催されていた医学教育に関する最高峰のワークショップで 4 泊 5 日の合宿で相当な体力・気力が要求される。

４．シラバスの検証

当センターが先月のマンスリーレポートでシラバス検証に関する提案をしたが、それを受けて 3 年生を中心としたシラバス改革が進行中である。各ユニットの第１ページにモデル・コア・カリキュラムの一般目標を引用し、次いで全体としての目標（コンピテンシー）とモデル・コア・カリキュラムの到達目標（コンピテンス）などを掲げることを検討している。なお、モデル・コア・カリキュラムは来年改訂される予定であるので次年度のシラバスに反映させたい。

５．総合試験問題の正答率解析

総合試験本試の問題別正答率を昨年と比較し、教務委員会へ報告した。

６．6 年生の学習環境等についての調査

勉強会室テュータ配置に関する調査を行った。テュータへのアンケート調査と学生のストレスチェックを実施し、その結果を教務委員長へ報告した。

７．模擬患者養成

11 月 12 日（土）に模擬患者の技術的向上を意図した「学生へのフィードバック」の練習

を行った。問診態度に問題がある医師へのフィードバック風景をDVDに記録したので今後の技術的向上に役立てたい。養成担当スタッフの有永照子講師、神代のほか看護学部の森本　紀巳子先生、加悦　美恵先生、および研修医4名の協力を得た。

以上